

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1136
施設名	きたひだまり保育園
施設所在地	国立市北3-4-2-1
法人名	社会福祉法人国立保育会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

感触 1歳児「粘土①」

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

日頃から感触遊びを行っていたため、更にいろいろな素材に触れることで、興味の幅が広がればと思い設定する。

「粘土はどんな感触かな？」

2. 活動スケジュール

令和6年11月～令和7年3月まで

子どもから自発的に〇〇したい！やってみたい！という要望があったときや雨天時日中の活動の中で子供の様子を見ながら行っていく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

様々な型抜き ピザカッター おままごと道具

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

机上で遊びたい子が集まり各々に楽しめるようにする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

「コネコネ」「クルクル」「エイエイ」と言いながらテーブルに置いた粘土を手のひらで伸ばし細くする。パンに見立てる子もいる。

ままごとの包丁を持ち切って遊ぶ。→包丁は多めに用意する。

ローラーで伸ばしたり、さまざまな型抜きを選んで型抜きをしたり、ピザカッターで切ったりして遊びが広がる様子が見られていた。

ケーキに見立ててたくさん作ると、ままごとのお皿を持ってきて保育者にご馳走する。

ケーキから発展し誕生会が始まる。歌を歌ったりして順番で歌い合っていた。

全種類あった形を使って型抜きをし、形を言いながら並べ数を数える子もいた。

写真は園ホームページ →アルバム→すくわく 参照

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

粘土の感触を口にする子は見られなかったので、柔らかい粘土や伸びる粘土など様々な素材のものでも遊べるようにしていく。

形の名前を言ったり型抜きをして選ぶ様子が見られたので様々な形を用意したり、食べ物に見立てて遊ぶ様子が多く見られたので、色付きの粘土も次回は用意していきたいと思う。